

ブリュノ・クレマン

(パリ第8大学教授) 講演会

「哲学者は作家か？」

司会：小林康夫 (UTCP)

2013年3月20日 (水) 16:00-18:00

東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム 3

使用言語：フランス語 | 入場無料 | 事前登録不要 (*講演原稿の日本語訳を配布予定)

*日本学術振興会・外国人招聘研究者事業 (2013年3月9日-20日 来日連続講演)

Bruno Clément (Université Paris 8)

"Les philosophes sont-ils des écrivains ?"

Moderator: Yasuo Kobayashi (UTCP)

16:00–18:00, Wednesday, March 20, 2013

Collaboration Room 3, Bld. 18, The University of Tokyo, Komaba

*** Language: French | Admission Free | No Registration Required**

ブリュノ・クレマン (Bruno Clément) パリ第8大学教授・国際哲学コレージュ元院長 (2004-2007)。サミュエル・ベケット研究の世界的な第一人者であると同時に、「修辞学」と「詩学」を軸に据えた独自の的方法論により、アウグスティヌスからデカルト、フランシヨ、デリダまで、小説と文学理論、文学と哲学といった領域を越え、きわめて幅広い作品を対象としたテキスト分析を行っている。著書に、『質なき作品 サミュエル・ベケットの修辞学』(1994)、『古典悲劇』(1999)、『読者とそのモデル ヴォルテール、パスカル、ユーゴー、シェイクスピア、サルトル、フローベール』(1999)、『註釈の発明、アウグスティヌス、ジャック・デリダ』(2000)、『方法の物語』(2005)、新刊『垂直の声——プロソポペイア試論』(2013) など多数。